



第4回町民スケート大会 1/17

「第4回町民スケート大会」が静内川右岸スケートリンクで開かれ、個人競技や団体競技の小学生男女別リレー、レク競技の長靴リレーでウィンタースポーツを楽しみました。

参加した小中学生の選手たちは、自己ベストを目指し、日頃の練習の成果を思う存分発揮するスケート競技を披露。

応援に駆けつけた家族などから熱い声援が飛んでいました。



静内消防団防災祈願セレモニー 1/7

静内消防団のまとい隊による防災祈願セレモニーがピュア前で行われ、隊員たちは「まとい振り」の伝統演技を披露し、住民に火災予防を呼びかけました。

消防出初式に合わせた啓発行事で、静内染退太鼓の演奏、もちつきやもちまきもあり、大勢の買い物客などが見学。太鼓演奏後は、お汁粉やきな粉もちが振舞われ、最後に法被姿のまとい隊が、木遣りに合わせて勇ましくまといを振り、今年1年の無災害・無火災を願っていました。



新年交礼会 1/5

町商工会などの産業団体が主催する新年交礼会が静内ウエリントンホテルで開かれ、町内の企業や団体などから約250人が出席しました。

主催者を代表して會澤實町商工会長は「いまだ経済は厳しいが、一丸となって前に進み、自助努力で素晴らしい年にしたい」と挨拶。

出席者は片岡禹雄しずない農協組合長の発声で乾杯し、お互いの新年の飛躍を願いながら歓談していました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



第28回子どもカルタ大会 1/17

『第28回子どもカルタ大会(町三石青少年育成協議会主催)』が歌笛総合住民センターで行われ、子どもたちの真剣勝負が繰り広げられました。

三石かるた同好会の会員が読み札を読み上げると、出場者は大会に向けた練習の成果を発揮し、すばやい動きで札を取り合いました。

この大会の「小学生高学年の部」と「中学生の部」の上位入賞チームが『北海道子どもかるた大会』の出場権を懸けて日高地区予選大会へ出場します。



まちづくり懇談会 1/16~

地域に暮らす皆さんの意見や声を町政に反映させ、より良いまちをつくるための「まちづくり懇談会」が、1月16日の古川町自治会による開催から始まりました。

新ひだか町になってから4回目となる今年は、1月16日から1月31日まで静内地区、2月1日から9日まで三石地区で開催する予定です。

皆さんから寄せられたご意見・ご提言は、今後のまちづくりに生かしてまいります。



ライディングヒルズ静内初乗り会 1/7

冬晴れのすがすがしい天気、澄んだ空と海が見える絶好の乗馬日和だったこの日、ライディングヒルズ静内で新年恒例の初乗り会が行われました。

静内乗馬スポーツ少年団や静内乗馬同好会のメンバーなど約30人が参加し、新年のあいさつを交わしたあと、3班に分かれて太平洋を一望するオーシャンコース(約3km)をトレッキング。広大で真っ白な雪原を海へ向かって進み、自然にふれあいながら乗馬を楽しみました。



静内産ミニトマト製品 12/29

NPO法人木の実福祉会(三宅靖夫会長)では、地産地消の推進などを目的に、静内産規格外の完熟ミニトマトを使用した「ミニトマトジャム」と「ミニトマトケチャップ」を製造しています。

素材の味を大切にするため、全て手作業で行っており、すでに町内のホテルなどで販売されています。

詳しくは、ワークセンターみのり(0146-43-1871)までお問合せ下さい。



第26回漬物コンクール 1/14

JAみついし女性部による「第26回漬物コンクール」が開かれ、地場食材を使用した「各家庭自慢の漬物」が出品され、並べられた漬物を歓談しながら食べ比べて審査していました。



町へ提言書を提出 1/13

町地域新エネルギー詳細ビジョン策定委員会(小田清委員長)が、太陽光発電や太陽熱利用、森林系木質バイオマスなどの環境にやさしいクリーンエネルギーの活用に関する提言書を町へ提出しました。



わんぱくチャレンジスクール 1/6~9

国立日高青少年自然の家に泊まり、冬にしかできない色々な遊び体験が行われ、参加した子どもたちは、雪合戦やスノーラフティング、歩くスキーなどを満喫していました。



蔵三に馬の水像 12/24

みついし昆布温泉「蔵三」を利用している野々宮さん(町内在住)が、持ち前の技術を生かして縁起の良い左馬の水像を制作し、蔵三の入口で入浴客などの目を楽しませていました。